

請願署名のお願いです。

身近な地域で、安心して生み育てる場所がほしい！

— バースセンターの設立と、安全確保に向けた医療環境の整備を —

請願署名にご協力下さい。

安心して  
お産と子育てが  
できる仕組みを  
上田でつくりたい。



請願書は上田市議会議長と長野県議会議長に提出するため、それぞれに署名をお願い致します。

<期限> 9月から11月30日まで

<送り先および問合せ先>

署名送付先：〒386-0011 上田市中央北1-8-4 片桐直希

問い合わせ先：事務局 片桐直希

電話：090-3200-1164

取り扱い団体：安心してお産と子育てができる地域をつくる住民の集い

<請願署名の留意点>

- 署名は上田市議会議長宛と長野県議会議長宛のそれぞれに同じ署名をお願いいたします。
- 都道府県を必ずご記入ください。
- 同じ住所の方も「ッ」「同上」ではなく、略さず正式に記入してください。
- FAXやコピーでお送りいただいても無効になります。必ず直筆でお願いします。
- 署名用紙が不足する場合はお手数ですがそれぞれ必要なだけコピーしてお使いください。

安心してお産と子育てができる地域をつくる住民の集い

# 身近な地域で、安心して生み育てる場所がほしい！

## — バースセンターの設立と、安全確保に向けた医療環境の整備を —

### 一 請願の主旨

1. 上田・小県地域では産科医師一人当たりの出生数が県内10の医療圏別で最も多く、最も少ない松本のほぼ3倍であり、このような医師不足の中で医療の集約化が進もうとしています。そこで正常出産を助産師が主導で妊娠初期から産褥6週までを一貫してケアするバースセンターを開設し、お母さんを中心のお産を支える仕組みをここ上田市に作って下さい。

イギリスやニュージーランドなどの多くの国が深刻な産科医師不足を経験しており、そのような国では現在助産師の活用が推進されつつあります。その骨子は正常出産を指名された助産師が、自宅やバースセンターで、妊婦の妊娠出産産褥の全過程を通じて責任を持ってケアするというものです。これは、産科医師の負担軽減を図り、同時にケアをお母さん中心の良質かつ満足度の高いものとすることを目指しています。

本来お産は自然の営みであり、身近の場所で、身近な人々に支えられ、祝福される大事なイベントです。助産師の活用はこのような本来のお産の姿を取り戻すためにも歓迎されるべきものと思われまます。地域・行政・専門職が協力して、産科医師の不足が今後ますます深刻となることが予想される今、女性とその家族を軸に据えた新しいお産を支える仕組みをここ上田市で新たに作り、地域に、長野県に、全国に発信することを目指してください。

2. 全ての出産に安全・安心を保障するため、上田・小県地域に産婦人科における二次医療を取り扱う連携強化病院が必要です。現在長野病院には常勤の麻酔科医師が在籍していないため、連携強化病院としての指定が受けられていません。そこで長野病院に働く麻酔科医師三人確保を地域で目指して、上田市が主体となり積極的に動いて下さい。

先の県の産科・小児科医療対策検討会提言で、長野病院には常勤の麻酔科医師がいないとの理由で、産科の二次医療を取り扱う連携強化病院としての指定を受けられなかったなど、上田・小県地域における医療提供体制は各診療科目を含めて、県内の10医療圏域の中でも特に整備の遅れが目立ちます。

基幹病院である長野病院に常勤の麻酔科医師を確保することは地域の医療環境の向上に対し喫緊の課題で、勤務形態を考えて三人の麻酔科医師が必須であり、上田市が主体となり地域として確保を目指し積極的に動いて下さい。

3. 地域でお産を担う人達全員によるセーフティーネットを確立して下さい。

医療機関が進んで情報を共有し、医学的必要がある症例は直ちに搬送できる体制の整備が必要です。先に上田地域広域連合で救急車に新生児搬送のための保育器を導入していただきましたが、引き続き救急搬送システムの整備を進め、地域でお産を担う人達全員によるセーフティーネットを確立して下さい。

# 上田市議会議長殿

## 二 請願事項

1. 上田・小県地域では産科医師一人当たりの出生数が県内10の医療圏別で最も多く、最も少ない松本のほぼ3倍であり、このような医師不足の中で医療の集約化が進もうとしています。そこで正常出産を助産師が主導で妊娠初期から産褥6週までを一貫してケアするバースセンターを開設し、お母さんを中心のお産を支える仕組みをここ上田市に作って下さい。
2. 全ての出産に安全・安心を保障するため、上田・小県地域に産婦人科における二次医療を取り扱う連携強化病院が必要です。現在長野病院には常勤の麻酔科医師が在籍していないため、連携強化病院としての指定が受けられていません。そこで長野病院に働く麻酔科医師三人確保を地域で目指して、上田市が主体となり積極的に動いて下さい。
3. 地域でお産を担う人達全員によるセーフティネットを確立して下さい。

氏 名	住 所
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県

署名送付先および事務局：〒 386-0011 上田市中央北1 - 8 - 4 片桐直希  
問い合わせ先：事務局 片桐直希 TEL:090-3200-1164  
取り扱い団体： 安心してお産と子育てができる地域をつくる住民の集い

# 身近な地域で、安心して生み育てる場所がほしい！

## — バースセンターの設立と、安全確保に向けた医療環境の整備を —

### 一 請願の主旨

1. 長野県内では産科医師の不足から基幹病院での分娩取り扱いの縮小や中止の報道があり、合わせて周産期医療の集約化が進もうとしています。そこで身近な場所で正常出産を助産師主導で妊娠初期から産褥6週までを一貫してケアするバースセンターを開設し、お母さん中心のお産を支える仕組みをここ長野県に作って下さい。

イギリスやニュージーランドなどの多くの国が深刻な産科医師不足を経験しており、そのような国では現在助産師の活用が推進されつつあります。その骨子は正常出産を指名された助産師が、自宅やバースセンターで、妊婦の妊娠出産産褥の全過程を通じて責任を持ってケアするというものです。これは、産科医師の負担軽減を図り、同時にケアをお母さん中心の良質かつ満足度の高いものとすることを目指しています。

本来お産は自然の営みであり、身近な場所で、身近な人々に支えられ、祝福される大事なイベントです。助産師の活用はこのような本来のお産の姿を取り戻すためにも歓迎されるべきものと思われまます。地域・行政・専門職が協力して、産科医師の不足が今後ますます深刻となることが予想される今、女性とその家族を軸に据えた新しいお産を支える仕組みをここ長野県で新たに作り、全国に発信することを目指してください。

2. 全ての出産に安全・安心を保障するため、それぞれの医療圏域に産婦人科における二次医療を取り扱う連携強化病院が必要です。地域で医療体制を完結するエリアとしての県内の10医療圏域のうち、3医療圏域で産婦人科の連携強化病院が選定されていません。県としてこれらの圏域でも医療提供体制の整備が進むよう支援をしてください。

先の県の産科・小児科医療対策検討会提言で県内の10医療圏域の中で上小・大北・木曽の3医療圏域で産婦人科における二次医療を取り扱う連携強化病院が選定されませんでした。

提言では隣接医療圏と協力して医療体制を構築していくとしていますが、地域で医療体制を完結するエリアとして医療圏が設定されており、また医療圏域間の移動で峠や冬季の積雪などの障害を避ける為にもこれらの圏域でも医療提供体制の整備を進め連携強化病院の選定が受けられるよう、県として支援してください。

3. 長野県各地域に対しお産を担う人達全員によるセーフティーネットの確立を積極的に支援して下さい。

医療機関が進んで情報を共有し、医学的必要がある症例は直ちに搬送できる体制の整備が必要です。

救急搬送システムの整備を進め、長野県広域でお産を担う人達全員によるセーフティーネットを確立して下さい。

さらに、このセーフティーネットを活用することで、改正医療法第19条によりバースセンターの開設、助産所の開業・存続が厳しくなっている状況に対し公的医療機関が積極的に嘱託を受ける事を義務とした条例を県として制定してください。

## 長野県議会議長殿

### 二 請願事項

1. 長野県内では産科医師の不足から基幹病院での分娩取り扱いの縮小や中止の報道があり、合わせて周産期医療の集約化が進もうとしています。そこで身近な場所で正常出産を助産師主導で妊娠初期から産褥6週までを一貫してケアするバースセンターを開設し、お母さん中心のお産を支える仕組みをここ長野県に作って下さい。
2. 全ての出産に安全・安心を保障するため、それぞれの医療圏域に産婦人科における二次医療を取り扱う連携強化病院が必要です。地域で医療体制を完結するエリアとしての県内の10医療圏域のうち、3医療圏域で産婦人科の連携強化病院が選定されていません。県としてこれらの圏域でも医療提供体制の整備が進むよう支援をしてください。
3. 長野県各地域に対しお産を担う人達全員によるセーフティーネットの確立を積極的に支援して下さい。

氏 名	住 所
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県

署名送付先および事務局：〒 386-0011 上田市中央北 1 - 8 - 4 片桐直希

問い合わせ先：事務局 片桐直希 TEL:090-3200-1164

取り扱い団体： 安心してお産と子育てができる地域をつくる住民の集い